

各委員の主な御意見

	報酬額の方向性等に関する御意見
第1回	人口は県内2位である。議員報酬は低くはないが、山口市議として万全に働ける額なのか危惧している。 「据え置き」か「引き上げ」だと思うが、国が示す検討の際の必要事項等と、市民の生活水準とのバランスが大切であり、「引き上げ」の検討には、財政状況を確認する必要がある。 消費者物価が上昇している。報酬の引き上げは市民に受け入れられない。市民が納得できる形で決めて欲しい。 市の財政状況を考慮し、適当とする額にして欲しい。 「引き上げ」の理由に、「他市と比較して」という文言は入れないで欲しい。 住民所得は下がり、物価は上昇している。給料を上げるという機運はあるので、「引き下げ」はない。 財政状況によって額を変えないと、市民から納得は得られない。
第2回	「据え置き」がよい。 ・ 山口市の水準は低い ・ 直近で下関市が据え置いた ・ 建設ラッシュであり、市民から反発 ・ 物価高騰は続くので、中途半端な引き上げになってしまう 「据え置き」がよい。 ・ 合併時も今も、概ね人口順になっており、引き上げる必要がない。 20年ぶりの審議であり、経済情勢を鑑みて議論をする必要がある。 「引き上げ」が良い。 ・ 物価上昇、政府も賃上げを促している ・ 特別職の賃上げで経済を回し、市内に明るいニュースを 「引き上げ」が良い。 ・ 20年ぶりに審議会を開催する機運 ・ 県都としての機能 ・ 100万円前後が良い 多少なりとも「引き上げ」でも良い。 ただし、定年延長に伴う、人件費増や新規採用の縮減など総体的に考える必要がある。 「引き上げ」か「据え置き」 ・ 財政は健全であり、議員は宇部市と比較して低い現状など、引き上げる要素もあるが、将来の財政見通しや、円安、原材料費高騰、人手不足など社会経済情勢を鑑みる必要がある。 物価が上昇しているので、当初は引き上げを考えたが、委員の意見や諸事情を考慮すると「判断が難しい」。